

2016

平成28年

1.25

所管 連合自治部
発行責任者 梶原宜教

昭和48年初版

第 75 号

44自治会
8,481世帯

題字揮毫 篠田昭新潟市長

六道



まちづくりの 「輪」を広げて

新潟市西区長 眞島 幸 平

新年おめでとうでございます。

坂井輪中学校区の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

「坂井輪中学校区まちづくり協議会」におかれましては、坂井輪中学校区まちづくりセンターを拠点に、坂井輪地域の課題解決のため、昨年新設された防火防災部を

はじめ各専門部による多種多様な活動に積極的に取り組まれていることに、深く感謝申し上げます。また、毎年春と秋に近隣保育園の園児とともに、区役所庁舎の花植えにご協力いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。庁舎を訪れる皆さまからも、季節の花々を楽しんでいただいております。

現在、超高齢社会への対応が大きな課題となっておりますが、皆さまが高齢者支援のための人材育成や研修会などを実施され、地域として支え合う体制作りにご尽力いただき、大変心強く感じしております。今後とも、皆さまのご活躍により、坂井輪地域の「地域力」がさら

に高まることを期待しております。西区が誕生して10年目の節目を迎えます。西区区ビジョンまちづくり計画を踏まえ、さらなる魅力と活力あふれる西区を目指して、皆さまとともにまちづくりを進めてまいります。

年頭のご挨拶



坂井輪中学校区まちづくり協議会
会長(連合自治部長) 梶原 宜 教

新年明けましておめでとうございます。坂井輪中学校区内自治会の皆様にはお健やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

さて、昨年の連合自治部活動では、地域自治会の活性化を図るための自治会長研修や、地域の民生委員、友愛訪問員との三者合同による研修、そして合同防災訓練など、地域自治会が直面する大きな課題についての取り組みを行って参りました。

また、昨年、地域自治会活動の実態と課題把握のためのアンケート調査を行いました。この結果お手上元によくよう作業を進めていくところでは、2・3自治会の役員の皆様と「自治会活動の課題解決策や活性化」について意見交換を行ってみたいと思っております。

地域の自治会活動の活性化が求められる中で、当坂井輪中学校区内では新たにラベスト亀貝自治会が加入し44自治会となりました。しかし組織的に脆弱で活動の停滞している自治会も多くみられ、連合組織としても再三にわたって各自治会の皆様に組織の活性化を訴えて参りましたが、結果、未だ今年の実施事業にも全く参加いただけない自治会もあり残念でなりません。

地域の活動母体としては、やはり生活の根幹となる自治会の皆様を中心であり、地域住民との「絆」を深めた活動が大切であると思っております。

今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄りにやさしい、安心安全な住みよい地域づくり」のため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

連合自治部全体会議 坂井輪連合自主防災会総会

■連合自治部全体会議

坂井輪中学校校区まちづくり協議会連合自治部全体会議（総会）は、自治会員（委任状10名）と連合自治部46名、行政2名の方々のご参画を頂き、平成27年5月31日、無事開催することができました。

坂井輪中学校校区まちづくり協議会連合自治部榎原部長の開会挨拶。西区役所の本多均副区長のご祝辞をいただいた後、道上ヶ丘自治会高橋隆夫会長を議長に選出して議事審議に入りました。



前年度の事業報告及び収支報告、新年度の事業計画と収支予算案などの審議が行われた後、議案書第1号から第2号議案、議案書第3号から第4号議案、議案書第5号議案（連合自治部組織・運営規定並びに同細則及び連合自治部役員選任規定の一部改正について）、そ

して議案第6号議案（役員（常任委員）の補充選任について）とも審議が行われた後、議案は満場一致で承認されました。

●収支予算により本年度の連合自治部費は、前年度と同じく1世帯205円とされました。

●第5号議案の役員任期による改選は、田中富美男常任委員の退任に伴い、補充新任平井孝志常任委員と小山陽一常任委員が選任されました。

■坂井輪連合自主防災会総会

連合自治部全体会議（総会）に引き続き開催した連合自主防災会総会は、榎原会長が議長席に就いて、前年度の事業報告・収支報告、新年度の事業計画・収支予算案、その他の審議後、議事は全て承認されました。

●収支予算により、本年度の連合自主防災会費は、前年度と同じく1世帯20円と決まりました。



自治会長等研修会

平成27年7月26日、区役所健康センター3階大会議室に於いて、自治会長と連合自治部49名、坂井輪中学校校区まちづくり協議会10名、行政側の8名、そして講師2名を含めた、総数69名のご出席のもとで開催ができました。

榎原会長は、高齢者対策（包括ケアセンター）、子ども支援（ひまわりクラブ）、そして、新通小学校の分離新設等の抱える課題を申し上げます。



研修会は行政説明と特別講演の組立にし、地域コミュニケーション活動と自治会の役割（立ち位置）が探れないだろうか」と企画してみました。新潟市福祉部地域包括ケア推進課佐久間なおみ課長から「地域包括支援システムについて」の概念的な内容を拝聴しました。

続いて、実家の茶の間代表河田珠子様の特別講演「ずっとここで暮らしたい」を受講しました。実践事例を交える講演内容は、ヒントの一端が掴めたと思っております。各自自治会からご提示願った、「自治会概況調査」の要望・意見は、自治会が抱える課題、問題点を整理し、直接例示をされました。行政側の助言を得られています。地域活動を担う自治会長の役割は大きいものがあります。平成27年度自治会長等研修会が解決策の一助になれことを願っています。

晴天下、会長さんら 避難所運営訓練初挑戦

平成27年度の坂井輪中学校校区まちづくり協議会の自主防災訓練は、10月18日「強い地震が発生した」との想定のもと、各自治会と坂井輪連合自主防災会が中心となって実施しました。



▲合同訓練開始

坂井輪中学校グラウンドに個別訓練を終了した自治会や、会場近接の29自治会約564名が参集して合同訓練が行われました。

訓練は定刻午前10時坂井輪連合自主防災会会長の「開催宣言」、ご来賓を代表し西区区長の「挨拶」、指導にあられた新潟西消防署寺尾出張所長の「訓練上の注意」で開始。

▲演習

最初に坂井輪中学校10人の生徒諸君で結成したレスキューチーム・ジュニア隊が心肺蘇生法、患者搬出法を披露されました。



▲各種訓練
今回、次の3訓練を西区総務課、消防署、消防団員の指導のもとに実施。

●避難所運営訓練は自治会長、副会長、防災担当部長を対象に初挑戦。

●濃煙体験訓練
●初期消火訓練
は一般参加者を2グループに分けて実施。

▲炊出し訓練

各種訓練と並行して、坂井輪中学校校区まちづくり協議会女性支援隊の皆さんが中心に、各自治会の希望者の皆さんによる非常食「アルファ米五日ご飯」の炊き出し訓練を行いました。又今年も非常食の缶入りカンパンも加え、好評をいただきました。



▲最後に

新潟西消防署寺尾出張所長から訓練の講評をいただき、全日程を終了しました。

▲結びに

今回の訓練の重点は、各自治会幹部対象に、初の避難所運営訓練を西区総務課の指導により実施。これは、避難所開設時の取り組みを試験的に実施したもので、限られた時間内のため、いろいろの課題が出ました。これらは次回への改善に努め併せて参加体験者の拡大をはかりたいと思っております。又グラウンドで行われた一般参加者対象の濃煙体験訓練や初期消火訓練の実施では、消防署、消防団の皆さんからは、ご指導いただき有難うございました。

最後に、会場となった坂井輪中学校、会場近隣自治会の皆さんには、会場設営・後始末等大変お世話になりました。紙面をお借りし、お礼申し上げます。

三者合同 研修会



三者合同研修会は、平成27年11月15日、西区役所3階会議室に於いて、自治会長32名、民生・児童委員27名、友愛訪問員25名、講師・ご来賓等6名、まちづくり協議会11名。総勢101名の多数のご参加を頂き開催致しました。

高齢化社会対応の地域包括センター構想は、何をどうすればよいか、地域に問いかけています。
今年度のテーマは【超高齢社会における地域の助け合い】とし、サブタイトルは「自治会長等役員、民生・児童委員、友愛訪問員の連携による地域の『見守り活動』」としました。

義は、新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科社会福祉部青木茂准教授の具体的事例を交えた講義を拝聴した後、グループワークに繋がるようになしました。



事例1 老人夫婦世帯のAさん(83歳・男性)は、認知症が進み、外出しても自宅に帰れなくなるのが度々あります。妻(80歳)が後を追いついていこうとすると「子どもじやない」と激怒し、拒否するため、妻は「交通事故に遭うのでは」と心配しています。Aさんは、この地域では古くからの住民ですので顔なじみの人がたくさんいます。Aさんに対してそれぞれ何ができますか？

事例2 一人暮らしのBさん(86歳・女性)は、膝の手術をしてから長距離を歩くことが難儀になってきています。これまで買い物は歩いて5分程にあるスーパーを利用していましたが、先日突然閉店してしまいました。そのためいつも近いスーパーとなると歩いて20分のところがありますが、歩いて買い物に行ける自信がないと言います。Bさんに対してそれぞれ何ができますか？

事例3 先月C自治会内で孤立死が起きました。亡くなった方は、75歳の男性で3年先に妻に先立たれ一人暮らしをしていました。元々近所づきあいはほとんど無く、会釈する程度。自治会行事に出てきてところを見た人はいません。40歳代子どもが隣市に在住しているようですが行き来はありません。このような悲劇を再度自治会から出さないようにするためにそれぞれができることは何ですか？

以上事例発表について、三者各グループ毎の「発表のまとめ」を記録したものを12月下旬から1月上旬に渡り、三者全ての会員に参考として郵送させて頂きました。

平成27度 受賞おめでとうございました

今後ともますますの発展を期待します

【自治会長 在職10年表彰】

■市長感謝状

緑ヶ丘自治会会長
梶原 宜教様



長年にわたり自治会長を務められ市政の発展と地域振興に多大の功績が認められ受賞。

本表彰記事は、それぞれの各広報紙「にし」の「会報住み郷」においても掲載されました。



【新潟市住みよい郷土推進協議会表彰】

■市長感謝状

○田邊 宏輔様
(坂井中郷自治会)



自治会役員を24年活動する傍ら、地域の生活環境、衛生関係には率先し作業の実施に前向きに努め、地域の環境美化に尽力していることが認められ受賞。

■住み協会長表彰

○志賀 賢一様
(緑ヶ丘自治会)



長年にわたりごみステーションの管理や違反ごみの巡回指導、生活環境対策全般にわたり、役員として地域住民の意識醸成活動と地域環境改善に尽力していることが認められ受賞。

■住み協会長表彰

○長谷川 誠一様
(西坂井第二自治会)



長年にわたり安全衛生面へ貢献が顕著。通学路側溝に投棄されたごみ処理、蚊駆除のため汚水桝への薬剤投与等、地域の環境改善に尽力していることが認められ受賞。

連合自治部・連合自主防災会 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

總會資料 (平成26年度会計)

連合自主防災会会計

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	89,347	89,347	平成25年度から繰越金
繰入金	0	0	
会費	167,260	168,460	20円*8,423世帯
助成金	265,500	240,300	新潟市から防災訓練助成金
雑収入	893	22	預金利息
収入合計	523,000	498,129	
事業費	455,000	423,995	
資機材費	300,000	266,193	訓練用資機材等購入費
広報費	30,000	29,392	訓練案内チラシ等印刷代
研修費	5,000	0	自主防災リーダー研修会参加等
その他費用	120,000	128,410	機材借、協力謝礼、関連団体参加費
運営費	55,000	36,276	
会議費	10,000	12,852	定期総会資料印刷製本代
事務費	30,000	15,506	コピー、コピー用紙等
設備費	0	0	
交通費	10,000	7,000	関連団体参加・一般交通費等
傷害保険費	0	0	
雑費	5,000	918	竹箒代
予備費	13,000	0	
支出合計	523,000	460,271	
次年度繰越金	0	37,858	平成27年度へ繰越

連合自治部会計(一般会計)

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	350,747	350,747	平成25年度から繰越
会費	1,715,000	1,726,715	205円*8,423世帯
補助金	0	412,000	機関紙「大道」・自治会長等役員研修会
交付金	741,000	756,253	
日赤赤	125,000	114,540	日赤奉仕団交付金
社協幹事費	36,000	63,000	@1,500円*42自治会数
社協活動費	580,000	578,713	平成25年度納入会費*30%
負担金	88,000	74,000	総会、研修会等来賓懇親会費
雑収入	253	10,159	預金利息、外部コピー代
収入合計	2,895,000	3,329,874	
事業費	930,000	1,125,776	
研修費	450,000	554,223	研修2回、意見交換会1回
広報費	100,000	185,753	大道1回発行
社協活動費	380,000	385,800	納入会費*20%還元
運営費	1,770,000	1,835,784	
会議費	240,000	218,871	総会、常任委員会経費
渉外費	100,000	9,000	他団体連絡調整と慶弔関係費
事務費	100,000	38,327	コピー機レンタル、事務用品等
専門員謝金	540,000	540,000	専門事務員負担
交通費	50,000	43,000	役員諸行事参加交通費
通信行動費	320,000	307,000	役員の通信行動費
慰労金	0	0	
負担金	340,000	599,586	住み協、防火連、まち協会計へ
協力費	80,000	80,000	西消防団、もぐらの家、ほっとスペース
雑費	0	0	
集会所費	17,000	0	
賃借料	7,000	0	
光熱水料	0	0	
雑口(物品諸費)	10,000	0	
予備費	178,000	0	
支出合計	2,895,000	2,961,560	
次年度繰越金	0	368,314	平成27年度へ繰越

この一年 つれづれなるまま...

▼前年に続き、3校あいさつ運動が6月と10月に学校の登校時間に合わせ行われた。これからも更に定着するように見守りましょう。

▼合同自主防災訓練が10月18日開催され、市が推奨する避難所運営訓練に初挑戦しました。課題も出たが、皆さんとともにこれから一つづつ実績を積み、いつ来るか予測できない災害へ備えたい。

演習参加の中学生は、新調で揃いのジャンパーが良く似合い、颯爽と訓練する姿に住民の皆さんから多くの拍手をいただいた。なお、できれば参加数の改善をしたい。

また、今年の特徴として女性支援隊が発足。炊出し訓練指導に大活躍、これからの一層の

発展を期待します。

▼11月15日開催の三者(民生委員・友愛訪問員・自治会長)合同研修会(3頁掲載)は、テーマ「超高齢化社会における地域の助け合い」とし、熱心にグループ討議が行われ「これから迎える地域包括ケアシステム時代」において、新しい地域の姿を問いかけながらの研修でした。

▼懸案の新通小学校から分離の新設小学校通学区地域説明会が12月13日開催され、①東西に広い坂井と新通自治会は新設分離校と既設校の学区に、その他の自治会は近い方の学区にまとまる。②新設分離校と既設校の学校規模を均等化にする旨の説明。

平成24年から検討が始まり途中紆余曲折しながら、良くここまで来れた感があり、関係者のご努力に感謝。後は、一刻も早く地域の新たな拠点となる立派な学校建設をお願いしたい。

あとがき

光陰矢のごとく月日の経つのは早く、平成二十七年もあっという間に過ぎました。

昨年は各自治会長様には当連合自治部の諸事業活動にご多忙の中ご参加を賜り誠に有難うございました。本年も諸行事を通じて、お隣り同志の顔が見える地域社会を築き上げられたらと願って活動して参りたいと思います。

昨年度から当事務所も月・水・金だけで無く、毎週月曜日から金曜日まで午後一時～五時まで事務所を開設し充実を目指しています。ご用件等ございましたらいつでもお立ち寄りください。本年もよろしくお願ひ申し上げます。(事務局)